

<b>授業科目名</b>	日本事情(2100523)		
<b>時間割名</b>	日本事情(11114)		
<b>時間割担当</b>	大淵裕美 オチャンテロサ		
<b>実施期</b>	後期	<b>単位数</b>	2 選択
<b>曜日・時限</b>	月・1		

### 授業の目標・概要

本講義では、日本の社会や文化を巡る様々な事項を学修する。具体的には、社会状況、年中行事、食文化、伝統文化、ポピュラーカルチャーカルチャなどを実践的・多角的に学修する。その作業を通じて、グローバル社会における日本とは何かを分析・考察し、理解を深めることを目指す。

### 学習の到達目標

- ・日本の文化・社会的な事情に関する基本的知識を修得する。
- ・日本文化・社会に関するフィールドワーク等を通じて得た知識を学習者間で協力しながら発信できる。

### 授業方法・形式

講義形式に加えて、グループワークやフィールドワーク、プレゼンテーションなどの演習を多用する。

### 授業計画

- 第1回 ガイダンス  
日本事情を通して何を学ぶか
- 第2回 都市の暮らし・地方の暮らし
- 第3回 日本の旅を楽しもう
- 第4回 日本の食文化を知ろう
- 第5回 季節を楽しむ年中行事
- 第6回 現代文化とポップカルチャー
- 第7～9回 日本文化体験
- 第10回 教育と子どもたち
- 第11回～第12回 多文化共生社会を目指して
- 第13回～第14回 プレゼンテーションの準備と発表
- 第15回 本講義のまとめ

### 成績評価の基準

- ・リフレクションシート・グループワーク等の貢献度（出席を含む）（30%）
- ・小テスト（20%）
- ・最終プレゼンテーション（50%）

### 準備学習・復習及び授

次回授業の範囲の予習や小テスト、フィールドワーク・文化体験の事前準備、最終課題作成等を行う必要がある。

### 履修上のアドバイス及

- ・特別聴講生等との積極的な交流を授業内外で行うことを通じて、グローバル社会における日本の理解を深める予定である。
- ・プレゼンテーションやグループワークなど、他科目で学修した内容を応用して実践することを推奨する。

### 教材・教科書

必要があれば授業中に適宜指示する。

### 参考書

佐々木瑞枝、2017『クローズアップ日本事情 日本語で学ぶ社会と文化』The Japan Times